



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 山 本 英 樹
幹 事 三 宅 善 太 郎 会 報 委 員 長 奥 田 秀 行

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2368

2018-4-27

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

本日の例会) 4月27日(第4例会)

- 卓話 「今昔あれこれ パート2」
入会して40年に思うこと。
今井賢二郎会員

次週のお知らせ) 5月4日(第1例会)

休 会

次々週のお知らせ) 5月11日(第2例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
- お祝・誕生日 結婚記念日 入会記念日
会社創立記念日
- 卓話 「2011～2012年度 会長と私の国際奉仕
委員長を振り返って」(3分間情報含む)
三木敏裕会員
- 理事会 11:30～12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- 臨時総会 例会終了後
- 食膳 <日本料理 端午の節句定食>

先週の記事) 4月20日(第3例会)

- 出席報告
出席会員 34名 (内免除会員 7名)
会員総数 49名 (同上 17名)
ゲスト 0名
ビジター 0名
計 34名
ホームクラブ出席率 87.18%
4月6日(第1例会) 補正出席率 100% (MU2名)

◆ 会長の時間 ◆

先週の春の家族会、たいへん楽しい時間を過ごさせていただきました。梅崎委員長をはじめ親睦委員会のみなさま、お世話ありがとうございました。平城宮跡では、平成22年に平城遷都1300年祭に行ったことを思い出しました。「せんとかん」がブームであった頃です。東大寺、春日大社と、小学校の遠足を思い出しました。一日ゆっくりさせていただき、私にとってはご馳走をプラスした大人の遠足と言ったところでした。

さて、明日はIM第8組ロータリーデーです。お天気もいいようですし、ぜひご参加ください。

◆ 委員会報告 ◆

親睦・出席委員長 梅崎道夫
先週4月14日(土)に開催致しました「春の家族会」は、会員・ご家族合わせて45名の参加を頂き、天候にも恵まれ、無事終了しました。有難うございました。

酒味の会キャプテン 井上裕貴
第3回酒味の会について、本日ポストしていますが、5月25日(金)の夜に「花和清」(かわせ)で行います。たくさんの方の参加をお願いします。

50周年実行委員長 南賀勝之
次年度、RAC創設準備委員会、IT推進委員会が新たに設置されます。50周年実行委員会としては、連携して記念事業に結び付けていきたいと考えています。

規定・情報副委員長 濱田由弘
第2回情報集会を本日18時より、「はり重 道頓堀本店」で行います。参加の方はよろしく願います。

R財団・米山奨学委員長 尾崎敬則
山本(英)会員から、R財団への寄付を頂戴しました。有難うございます。来週も、どうぞよろしく願います。

◆ 3分間情報 ◆



梅崎道夫会員
本日は、ロータリーの財団寄付についてお話いたします。
たとえば、2660地区で年間5千万円が各クラブから「財団への寄付＝年次基金」として集まり、それらをRIに送金したとしたら、その資金はRIで3年間、管理・運用された後、送金額の半分の2,500万円が2660地区に戻ってくることになります。

この返金された資金を、2660地区では「地区財団活動資金」として様々な奉仕活動に活用できる資金源として利用しています。この「地区財団活動資金」のおよそ半分は「地区補助金」として、2660地区内の各クラブの比較的小規模なプロジェクト(40万円～60万円)への原資として活用されています。「地区財団活動

4月は母子の健康月間です!!

<4つのテスト> 言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

資金」の「地区補助金」以外の使途としては、「グローバル補助金」という制度があります。これも2660地区内のクラブまたは地区からの申請により、大規模で国際的な人道的プロジェクトなどに利用され、ひとつのプロジェクトの予算は最低3万ドル以上である必要があります。また、RIに送金されて戻ってこなかった残り半分の資金(これを「ワールドファンド」と言います)も、「グローバル補助金」の申請が認められますと、「ワールドファンド」から2660地区で負担する「グローバル補助金」と同額の資金をRIから提供してもらえ、る制度でもあります。

城南ロータリークラブでも「グローバル補助金」を活用すれば規模の大きなプロジェクトも可能になりますので、関心を持って頂きたいと思ひます。

卓話

4月20日 <第3例会>

「中国で会社を経営する -その6-」

大原 文会員



久しぶりの卓話です。ロータリーに入会して11年、ずっと同じタイトルで卓話してきましたので今回で第6回になりました。なかには以前、一度話したことをまた話してしまうかもしれませんがご勘弁ください。初めて中国上海に工場を開

いたのは今から25年前になります。主にサクラクレパスさんの上海の工場でお使いになるクレヨン、クレパス、絵の具などを入れる箱を毎日々作ってはサクラクレパスさんの工場のその日の製造予定に合わせて納品してきました。サクラクレパスさんの箱を作る仕事が約7割～8割。後、日本の本社の仕事をしていたのですが、なかには上海銘柄というか、上海でしかできない仕事も一部出てきました。その1つが、絨毯や、カーテンや壁紙の見本帳の仕事です。家を新築したり、リフォームしたら業者の人が持ってくるスーツケースのような大きな見本帳です。これはもう日本ではほとんど作ることができなくなっています。これを私の会社は15年前から上海の工場で作っております。サクラクレパスさんは製造拠点を上海からベトナムに移すことを決められて、その意味でも私の会社が上海でこのまま続けていくのは困難なことは目に見えています。前回の卓話でも話しましたが、中国・上海の工場は縮小撤退の方向で考えているのですが、15年続いた上海銘柄の見本帳の仕事のこともあり、簡単に撤退できない状況であります。そんなことをいろいろ悩んでいる間に、去年の秋に大きな見本帳の仕事が入ってしまいました。壁紙1,600点、2万冊の見本帳の仕事で、売り上げもこれ1つだけで約7,000万円ほどあります。私ら規模の箱やにとっては大きな仕事です。仕事をパスすればお得意先にも迷惑をかけるし、当社としても大きな売上減になります。サクラクレパスさんの仕事は、100%現地の法人間のビジネスですので、

減少しても日本の会社には影響がありません。しかし、見本帳の売上減は大きな痛手になります。本当は日本で同じ仕事と同じコストで出来ればいいのですが、日本では出来る方法がありません。

そんなこともあって、撤退もスムーズに進んでいません。7回目の卓話時までには解決が図れるよう期待しております。



▲ R財団ボール・ハリス・フェロー認定 宇津井会員

にこにこ箱

4月20日(第3例会)

- 久しぶりの卓話です。たいした話ではないので気楽に聞いてください。
大原会員
- 春の家族会、楽しかったです。
山口様、三宅様、写真有難うございます。
山本(英)会員
- 山口さん、「春の家族会」の写真有難うございました。
梅崎会員
- 梅崎委員長はじめ親睦・出席委員会の皆様、春の家族会、有難うございました。
三宅さん、写真たくさん有難うございます。
岡部(倫)会員
- 梅崎委員長をはじめ親睦・出席委員会の皆さん、お手伝いしていただいた皆さん、家族会大変楽しく過ごさせていただきました。また写真も有難うございます。
尾崎会員
- 山口さん、三宅さん、写真有難うございます。
岩永会員
- 家族会ではお世話になりました。
三宅会員
- 山口さん、写真有難うございました。
武田会員
- 梅崎委員長、鳥居さん、親睦・出席委員会の皆さん、家族会有難うございました。
山口さん、写真有難うございます。
- 司会不手際お詫び。
村上(武)会員
- その他、早退おわび 2件

(編集担当 中辻・小原)

会員増強にご協力を!!